



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月6日

上場会社名 株式会社アドヴァングループ 上場取引所 東  
 コード番号 7463 URL http://www.advan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末次 廣明  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山形 さとみ TEL 03-3475-0394  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月31日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,540	11.1	3,266	9.3	2,992	△29.2	1,915	△33.6
2022年3月期第3四半期	13,087	4.5	2,989	△3.4	4,227	68.0	2,884	77.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,872百万円 (△32.6%) 2022年3月期第3四半期 2,780百万円 (77.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	50.48	—
2022年3月期第3四半期	71.38	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	58,051	41,342	71.2	1,095.46
2022年3月期	57,591	42,658	74.1	1,071.41

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 41,342百万円 2022年3月期 42,658百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2023年3月期	—	20.00	—		
2023年3月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	13.9	4,800	25.3	5,150	△10.5	3,400	△11.0	85.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	53,812,692株	2022年3月期	53,812,692株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	16,072,946株	2022年3月期	13,996,946株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	37,947,346株	2022年3月期3Q	40,415,786株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続きコロナ禍からの正常化が期待される一方、内外でインフレ懸念が高まるとともに、これに応ずる形での各国金融当局の政策変更が大幅な為替変動をもたらすなど、景気の先行きはさらに不透明なものとなっております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は14,540百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は3,266百万円（同9.3%増）となりましたが、年末にかけて円高が進んだ影響を受けて、デリバティブ評価損として1,912百万円（前年同期は806百万円の評価益）を計上しました。この結果、経常利益は2,992百万円（前年同期比29.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,915百万円（同33.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産負債の増減

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は前連結会計年度末に比べ459百万円増の58,051百万円となり、また、負債総額は前連結会計年度末に比べ1,776百万円増の16,709百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,316百万円減の41,342百万円となり、この結果、自己資本比率は71.2%となりました。

## ②連結キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,208百万円減の6,354百万円となりました。なお、当四半期連結会計期間における連結キャッシュフローの状況は以下のとおりであります。

## （営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は1,925百万円（前年同期は1,930百万円の収入）となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,964百万円、為替差益△560百万円、デリバティブ評価損1,912百万円、また、支出の主な要因は法人税等の支払額2,202百万円であります。

## （投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は5,120百万円（前年同期は225百万円の支出）となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が2,380百万円、投資有価証券の取得による支出501百万円などがあり、このほか定期預金の預入による支出が4,765百万円、定期預金の払戻しによる収入が2,251百万円あります。

## （財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は46百万円（前年同期は2,768百万円の支出）となりました。その主な内訳は、長期借入による収入が4,805百万円、長期借入金の返済が1,689百万円、配当金の支払額が1,518百万円、自己株式の取得が1,643百万円あります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。特に、経常利益、当期純利益は、為替の変動によりデリバティブ評価損が生じた場合、その影響を受けることとなります。

なお、2023年3月期の通期業績予想につきましては、3月末の為替の見通しが難しいことから、2022年4月6日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想を据え置いております。業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,999,650	12,832,598
受取手形、売掛金及び契約資産	4,537,794	5,369,240
商品	3,035,577	2,803,736
原材料	16,795	16,152
その他	1,192,146	627,192
貸倒引当金	△643	△830
流動資産合計	21,781,320	21,648,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,403,969	7,174,214
土地	23,097,451	23,894,589
その他（純額）	761,258	1,965,875
有形固定資産合計	31,262,678	33,034,678
無形固定資産	94,032	71,815
投資その他の資産	4,453,932	3,296,914
固定資産合計	35,810,643	36,403,408
資産合計	57,591,964	58,051,498
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,086,382	980,948
1年内返済予定の長期借入金	1,974,588	2,454,984
未払法人税等	1,349,674	199,853
賞与引当金	97,000	42,000
その他	766,750	731,853
流動負債合計	5,274,395	4,409,639
固定負債		
長期借入金	9,602,433	12,237,315
役員退職慰労引当金	33,941	33,941
その他	22,210	28,125
固定負債合計	9,658,585	12,299,381
負債合計	14,932,981	16,709,020

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,500,000	12,500,000
資本剰余金	4,922,559	4,922,559
利益剰余金	36,092,183	36,456,832
自己株式	△10,972,054	△12,610,018
株主資本合計	42,542,687	41,269,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,295	73,105
その他の包括利益累計額合計	116,295	73,105
純資産合計	42,658,983	41,342,477
負債純資産合計	57,591,964	58,051,498

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	13,087,263	14,540,914
売上原価	7,343,682	8,368,378
売上総利益	5,743,581	6,172,536
販売費及び一般管理費	2,753,817	2,906,194
営業利益	2,989,763	3,266,341
営業外収益		
売電収入	91,518	99,987
デリバティブ評価益	806,341	—
為替差益	156,186	1,338,973
受取運賃収入	147,221	202,772
その他	88,831	66,405
営業外収益合計	1,290,100	1,708,139
営業外費用		
売電原価	31,314	29,912
デリバティブ評価損	—	1,912,663
その他	20,672	38,992
営業外費用合計	51,987	1,981,568
経常利益	4,227,876	2,992,912
特別利益		
固定資産売却益	453	219
会員権売却益	2,436	—
投資有価証券売却益	—	57,513
特別利益合計	2,889	57,733
特別損失		
固定資産処分損	37,446	77,481
投資有価証券評価損	—	2,229
投資有価証券売却損	—	6,658
特別損失合計	37,446	86,369
税金等調整前四半期純利益	4,193,320	2,964,276
法人税、住民税及び事業税	1,281,652	1,017,435
法人税等調整額	26,839	31,082
法人税等合計	1,308,492	1,048,517
四半期純利益	2,884,828	1,915,758
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,884,828	1,915,758

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,884,828	1,915,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,856	△43,190
繰延ヘッジ損益	△58,823	—
その他の包括利益合計	△104,680	△43,190
四半期包括利益	2,780,147	1,872,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,780,147	1,872,568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,193,320	2,964,276
減価償却費	566,109	530,612
賞与引当金の増減額（△は減少）	△52,500	△55,000
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,658	187
受取利息及び受取配当金	△15,116	△24,733
支払利息	19,626	33,159
為替差損益（△は益）	△56,317	△560,698
デリバティブ評価損益（△は益）	△806,341	1,912,663
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△50,854
固定資産売却益	△453	△219
固定資産処分損	18,946	54,750
売上債権の増減額（△は増加）	△26,370	△831,446
棚卸資産の増減額（△は増加）	△492,010	108,770
仕入債務の増減額（△は減少）	△225,906	123,703
その他	△40,576	△69,014
小計	3,079,750	4,136,156
利息及び配当金の受取額	15,116	24,733
利息の支払額	△19,615	△33,159
法人税等の支払額	△1,144,544	△2,202,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,930,706	1,925,087
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△4,765,620
定期預金の払戻による収入	—	2,251,327
有形固定資産の取得による支出	△433,539	△2,380,294
無形固定資産の取得による支出	—	△5,126
投資有価証券の売却による収入	—	281,369
投資有価証券の取得による支出	△205,237	△501,892
保険積立金の解約による収入	457,716	—
その他	△44,210	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,271	△5,120,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	4,805,000
長期借入金の返済による支出	△1,588,312	△1,689,722
自己株式の取得による支出	△112	△1,643,696
配当金の支払額	△1,179,867	△1,518,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,768,291	△46,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	56,317	33,588
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,006,539	△3,208,454
現金及び現金同等物の期首残高	10,711,023	9,563,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,704,484	6,354,933

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社は、2022年4月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,076,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において単元未満株式の買取りによる増加も含めて、自己株式が1,637,964千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が12,610,018千円となっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号、2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	建材関連事業	不動産賃貸事 業	その他 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,476,068	79,422	531,772	13,087,263	—	13,087,263
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	1,557,754	1,153,570	2,711,325	△2,711,325	—
計	12,476,068	1,637,177	1,685,343	15,798,589	△2,711,325	13,087,263
セグメント利益	2,879,269	1,047,608	338,562	4,265,440	△1,275,676	2,989,763

(注) 1. 「その他」の区分は、ホームセンターへの卸売り販売事業及び当社商品の入出庫事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,275,676千円には、セグメント間取引消去△147,471千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,128,205千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	建材関連事業	不動産賃貸事 業	その他 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,025,924	69,239	445,750	14,540,914	—	14,540,914
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	1,559,841	1,146,273	2,706,114	△2,706,114	—
計	14,025,924	1,629,080	1,592,023	17,247,028	△2,706,114	14,540,914
セグメント利益	3,418,240	914,463	259,471	4,592,174	△1,325,833	3,266,341

(注) 1. 「その他」の区分は、ホームセンターへの卸売り販売事業及び当社商品の入出庫事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,325,833千円には、セグメント間取引消去△118,361千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,207,472千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。